

# 生物多様性の保全をふまえた「自然公園のあり方」に関する6つの提言

2008年12月4日

(財)日本自然保護協会

## 1. 「生物多様性の保全」を自然公園法の目的条項に位置づけるべきである

2002年の自然公園法改正では、国および都道府県の責務として生物多様性の確保が義務化されたが、法の目的はあくまで自然の風景地の保護にある。しかし、生物多様性基本法や生物多様性条約「2010年目標」など、風景の保護を主軸とした時代から、生物多様性の積極的な保全が求められる新たな時代となっている。生物多様性の価値は、主観的な尺度である「美的雰囲気」の中だけで評価されるものではなく、生物多様性から見た重要地域の多くが自然公園外にあるという状況を改善することが急務である。そこで、「生物多様性の保全」を自然公園法の目的条項に位置づける、抜本的な法改正が必要である。

## 2. 自然公園を、気候変動を緩和し・気候変動への適応する場として位置づけるべきである

気候変動は、生物多様性の損失と表裏一体の世界的な課題である。保護地域の拡大とネットワーク化、およびその適正な管理は、気候変動の緩和とそれに対する適応に貢献すると期待される。以下の実現が重要である。

- 1) 石油特別会計、排出量取引等、気候変動対策の財源を自然公園の拡大・管理に活用する
- 2) 生物多様性の豊かな地域ほど気候変動などの環境変化に対する復元力が高いことが考えられることから、生物多様性の観点を重視した自然公園の拡大を行う
- 3) 2)を進めるにあたっては、自然公園の戦略的な配置によって保護地域のネットワーク化をすすめ、その適切な管理を行い気候変動への適応の場とする。

## 3. 国立公園における科学的な調査研究・自然環境情報収集・モニタリングの体制を確立する

第3次生物多様性国家戦略においては、国立公園を「日本の生物多様性保全の屋台骨」として位置づけているが、国立公園内の自然環境の実態や価値が評価されていないまま管理運営がなされている。生物多様性の保全のために長期的な視野に立ったインベントリーとモニタリングの体制（予算・人材を含め）を確立し、必要な保護や対策を講じることができるようしておくことが重要である。その上で、生物多様性保全の対象である種、群集、生態系、景観の各レベルにおける科学的データをもとに、それぞれの空間レベルの評価とゾーニングを行ない、それぞれの公園計画と公園管理運営計画に反映することが必要である。

#### 4. 国立公園をタイプ別に分け、公園ごとの保全管理目標を設定する

国立公園は、公園ごとに規模や自然性、歴史性などが異なり特色を持っている。そこで、利用のバランスを図るうえでも、国立公園を「生態系保全重視タイプ」、「景観・レクリエーション重視タイプ」、「歴史・文化公園タイプ」など IUCN の保護地域カテゴリーを参考に類型化し、各国立公園の特徴にあわせた保全管理の目標を設定することが重要である。

#### 5. 「公園計画」のあり方を見直し、「公園計画協議会」を設置する

公園計画は、公園の基本的な保護と利用のあり方を定め、具体的な保護管理の基礎となる計画であるが、現在、その策定のプロセスには知事と中央環境審議会の意見を聴くことだけが定められており、市民の意見の反映は義務づけられていない。今後、自然公園管理において、住民、NGO 等の地域主体に管理運営の協力・協働を求めるならば、公園計画の策定段階から、学識者のみならず住民、NGO を含めた「公園計画協議会」を設置し、合意形成の場とすべきである。これには地方環境事務所がコーディネーターとしての役割を果たすべきである。その際、1) 多様な主体の参画と公開、2) 問題解決型の行動計画、3) 包括的な地域計画（森林・海域・河川・道路などを含む管理計画）とすることが効果的な管理に繋がると考えられる。

#### 6. 海域保護区の設定にあたっては、他省庁と連携し、生態学的観点から見て重要な流域を含めるべきである

生物多様性条約保護地域プログラム（CBD-WoP）において、2012年までに海洋保護区（MPA）のネットワーク構築が国際的に要請されている。しかし、これまでのように、海域の景観を基準として指定してきた海中公園や、無規制にも近い普通地域だけでは不十分であり、自然公園制度のなかに新たな「海域保護区」のカテゴリー設定が求められる。漁業との調整だけではなく、生態学的なゾーニングを行うべきであり、それには海域の自然環境情報の充実が急務である。漁業や観光の調整は、生物多様性ならびに生物資源管理の視点から行うべきであり、また、海域と陸域との連続性の視点から、生態学的視点から見て重要な流域を含めた設定が望まれる。これらを実現するためにも、他省庁（林野庁・水産庁・農水省・国交省等）との連携を図ることが重要である。

以上